



## Red Hat Process Automation Manager 7.8

ケース管理への Showcase アプリケーションの使用



# Red Hat Process Automation Manager 7.8 ケース管理への Showcase アプリケーションの使用

---

Red Hat Customer Content Services  
brms-docs@redhat.com

## 法律上の通知

Copyright © 2020 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

本書は、Red Hat Process Automation Manager 7.8 でケース管理プロジェクトに Showcase アプリケーションを使用する方法を説明します。

---

## 目次

前書き .....	3
第1章 ケース管理 .....	4
第2章 ケース管理の SHOWCASE アプリケーション .....	5
Showcase サポート .....	5
第3章 SHOWCASE アプリケーションのインストールおよびログイン .....	6
第4章 ケースロール .....	8
第5章 動的タスクおよびプロセスの開始 .....	10
第6章 SHOWCASE アプリケーションで IT 発注ケースの開始 .....	14
第7章 SHOWCASE と BUSINESS CENTRAL を使用した IT_ORDERS ケースの完了 .....	17
第8章 関連資料 .....	23
付録A バージョン情報 .....	24



## 前書き

ケース作業またはプロセスの管理者は、Business Central でケース作業が行われている間、Showcase アプリケーションを使用してケース管理アプリケーションを管理および監視できます。

ケース管理はビジネスプロセス管理 (BPM) とは異なり、ケース全体で処理する実際のデータに焦点をあて、目的を達成する一連の手順にはあまり重点を置きません。ケースデータは、ケース処理における情報の中で最も重要な要素ですが、ビジネスの状況や意思決定はケース作業担当者の管理下に置かれません。

本書を使用して Showcase アプリケーションをインストールし、Business Central の IT\_Orders サンプルケース管理プロジェクトを使用してケースインスタンスを開始します。Business Central を使用して、IT 発注ケースを完了するのに必要なタスクを完了します。

### 前提条件

- Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 7.3 がインストールされている。詳細情報は『[Red Hat JBoss EAP 7.3 インストールガイド](#)』を参照してください。
- Red Hat JBoss EAP に Red Hat Process Automation Manager がインストールされ、KIE Server で設定されている。詳細は『[Red Hat JBoss EAP 7.3 への Red Hat Process Automation Manager のインストールおよび設定](#)』を参照してください。
- **KieLoginModule** を **standalone-full.xml** に設定している。これは KIE Server に接続するために必要です。KIE Server の設定方法は『[Red Hat Process Automation Manager インストールの計画](#)』を参照してください。
- Red Hat Process Automation Manager が稼働し、**kie-server** および **user** の両ロールが割り当てられたユーザーで Business Central にログインしている。ロールの詳細は『[Red Hat Process Automation Manager インストールの計画](#)』を参照してください。
- IT\_Orders サンプルプロジェクトが Business Central に実装されており、KIE Server にデプロイされている。ケース管理の詳細は『[ケース管理の使用ガイド](#)』を参照してください。

## 第1章 ケース管理

ケース管理は、Business Process Management (BPM) の拡張機能で、適用可能なビジネスプロセスを管理します。

BPM は、反復可能で共通のパターンを持つタスクの自動化に使用する管理プラクティスで、プロセスを完全化して最適化を図ることに焦点を当てます。ビジネスプロセスは通常、ビジネスの目標へのパスを明確に定義し、モデル化されています。これには、通常量産原理をもとに、多くを予測ができる必要があります。ただし、実際のアプリケーションの多くは、最初から最後まで完全に記述できません (考えられるパス、偏差、例外など)。特定のケースでプロセス指向のアプローチを使用すると、複雑なソリューションとなり、管理が困難になります。

推測可能なルーチンタスクを対象とする BPM の効率指向アプローチとは対照的に、ケース管理は反復なしで推測不可能なプロセスに対して問題解決を提供し、プロセスが事前に予測不可能な場合など、一回限りの状況を管理します。ケースの定義は通常、疎結合プロセスの断片で構成されており、このような断片を直接または間接的に結合して、ランタイム時に発生する変化に対応し、プロセスを動的に管理しつつ、特定のマイルストーンや最終的なビジネス目標に到達できるようになっています。

Red Hat Process Automation Manager のケース管理には、以下のコアプロセスエンジン機能が含まれます。

- ケースファイルのインスタンス
- ケースごとのランタイム戦略
- ケースコメント
- マイルストーン
- ステージ
- アドホックフラグメント
- 動的タスクおよびプロセス
- ケース識別子 (相関キー)
- ケースのライフサイクル (閉じる、再開、キャンセル、破棄)

ケース定義は常にアドホックのプロセス定義で、明示的な開始ノードは必要ありません。ケース定義は、ビジネスユースケースの主なエントリーポイントです。

プロセス定義は、ケースでサポートされる構成概念として導入され、ケース定義に指定された通り、または必要に応じて追加処理に動的に取り込むために呼び出すことができます。ケース定義は、以下の新しいオブジェクトを定義します。

- アクティビティ (必須)
- ケースファイル (必須)
- マイルストーン
- ロール
- ステージ

## 第2章 ケース管理の SHOWCASE アプリケーション

Showcase アプリケーションは Red Hat Process Automation Manager ディストリビューションに同梱され、アプリケーション環境でのケース管理機能のデモを提供します。Showcase は、ビジネスプロセス管理 (BPM) とケース管理の対話を紹介する概念実証として使用することを目的としています。このアプリケーションを使用して、ケースの開始、終了、監視、対話が行えます。

Showcase は、Business Central アプリケーションおよび KIE Server とともにインストールする必要があります。Showcase アプリケーションでは新しいケースインスタンスを開始するのに必要ですが、ケース作業は引き続き Business Central で行われます。

ケースインスタンスが作成され、作業を開始したら、**Case List** でケースをクリックし、ケースの **Overview** ページを開くことで、Showcase アプリケーションでケースを監視できます。

### Showcase サポート

Showcase アプリケーションは Red Hat Process Automation Manager の根幹部分ではなく、ケース管理のデモ目的で提供されるものです。お客様がケース管理を選択し、特定のニーズに合わせて修正していただく必要があります。アプリケーションの内容そのものに、製品固有のサービスレベルアグリーメント (SLA) は適用されません。Showcase のアップデート時に考慮できるように、問題、機能拡張の要求、およびフィードバックがあれば是非お知らせください。

Red Hat サポートは、想定される用途に対し、商慣習上妥当と考えられる範囲でこのテンプレートの使用に関するガイダンスを提供します。ただし、テンプレートで提供される UI コードの例は除きます。



#### 注記

**製品サポート** は、Red Hat Process Automation Manager ディストリビューションに限定されます。

## 第3章 SHOWCASE アプリケーションのインストールおよびログイン

Showcase アプリケーションは、アドオン Zip ファイルの Red Hat Process Automation Manager 7.8 ディストリビューションに含まれます。このアプリケーションの目的は、Red Hat Process Automation Manager のケース管理機能をデモとして紹介し、Business Central に作成したケースを操作することです。Red Hat JBoss Enterprise Application Platform インスタンスまたは OpenShift に Showcase アプリケーションをインストールできます。以下の手順では、Red Hat JBoss EAP に Showcase アプリケーションをインストールする方法を説明します。

### 前提条件

- Business Central および KIE Server が Red Hat JBoss EAP インスタンスにインストールされている。
- **kie-server** ロールおよび **user** ロールを持つユーザーを作成している。**user** ロールは Showcase アプリケーションにログインできます。稼働中の KIE Server でユーザーがリモート操作を実行するには、**kie-server** ロールが必要です。
- Business Central を実行している。

### 手順

1. Red Hat カスタマーポータルの [Software Downloads](#) ページに移動し (ログインが必要)、ドロップダウンオプションから製品およびバージョンを選択します。
  - 製品: Red Hat Process Automation Manager
  - バージョン: 7.8
2. Red Hat Process Automation Manager 7.8 Add Ons(**rhpmam-7.8.0-add-ons.zip**) をダウンロードします。
3. **rhpmam-7.8.0-add-ons.zip** ファイルを展開します。**rhpmam-7.8-case-mgmt-showcase-eap7-deployable.zip** ファイルは展開したディレクトリーにあります。
4. **rhpmam-7.8-case-mgmt-showcase-eap7-deployable.zip** アーカイブを一時ディレクトリーに展開します。以下の例では、この名前を **TEMP\_DIR** とします。
5. **\_TEMP\_DIR/rhpmam-7.8-case-mgmt-showcase-eap7-deployable/jboss-eap-7.3** ディレクトリーのコンテンツを **EAP\_HOME** にコピーします。ファイルの上書き、またはディレクトリーのマージを確認したら、**はい** を選択します。



#### 警告

コピーする Red Hat Process Automation Manager デプロイメントの名前が、Red Hat JBoss EAP インスタンスの既存デプロイメントと競合しないことを確認します。

- お使いのデプロイメントの `7.3/jboss-eap-7.3/standalone/configuration/standalone-full.xml` に移動して、以下のシステムプロパティを追加します。

```
<property name="org.jbpm.casemgmt.showcase.url" value="/rhpam-case-mgmt-showcase"/>
```

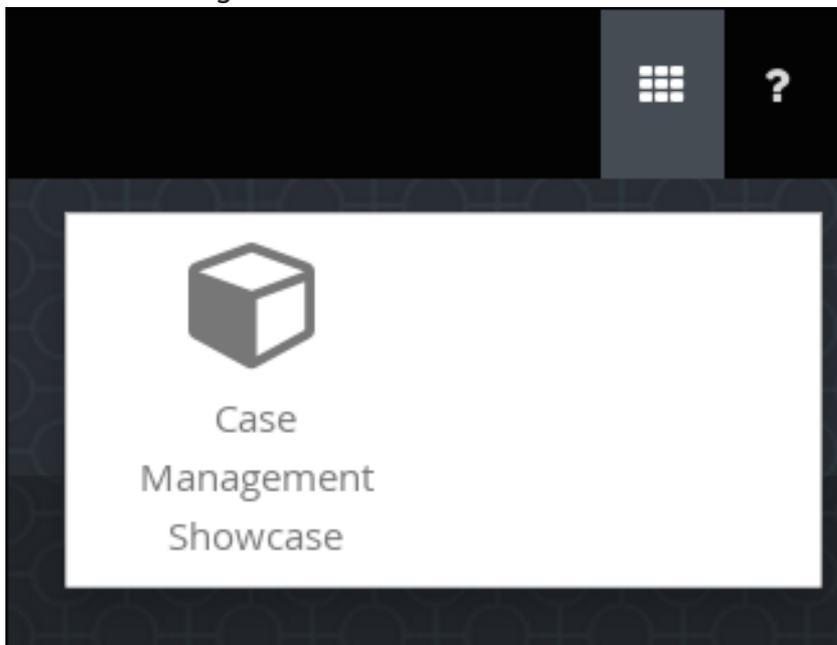
- ターミナルアプリケーションで `EAP_HOME/bin` に移動して、スタンドアロンの設定を実行し、Business Central を起動します。

```
./standalone.sh -c standalone-full.xml
```

- Web ブラウザーで `localhost:8080/business-central` を開きます。  
ドメイン名から実行するように Red Hat Process Automation Manager を設定した場合は、以下のように `localhost` をドメイン名に置き換えます。

<http://www.example.com:8080/business-central>

- Business Central の右上で、Apps launcher ボタンをクリックして、新しいブラウザーウィンドウで Case Management Showcase を起動します。



- Business Central ユーザー認証情報を使用して Showcase アプリケーションにログインします。

## 第4章 ケースロール

ケースロールは、ユーザーがケース処理に参加する追加の抽象層を提供します。ロール、ユーザー、グループは、ケース管理の別の目的に使用されます。

### ロール

ロールは、ケースインスタンスの認証や、ユーザーアクティビティの割り当てを可能にします。所有者ロールには、ユーザーまたは1つ以上のグループを割り当てることができます。ケースが所属するユーザーが所有者です。ケースの定義では、ロールの割り当てはユーザーまたはグループ1つだけに制限されません。特定のユーザーまたはグループにタスクを割り当てる代わりに、ロールを使用してタスクの割り当てを指定することで、ケースを動的に保ちます。

### Groups

グループとは、特定のタスクを実行できるユーザー、または指定の責任が割り当てられたユーザーの集合です。グループには何人でも割り当てることができ、ロールにはどのグループでも割り当てることができます。グループのメンバーは、いつでも追加または変更できるので、特定のタスクにグループをハードコード化しないでください。

### Users

ユーザーとは、ロールに割り当てたり、グループに追加したりして、特定のタスクを割り当てることができる個人を指します。



### 注記

プロセスエンジンまたは KIE Server で **unknown** という名前のユーザーは作成しないでください。 **unknown** ユーザーアカウントは、superuser のアクセス権限があるシステム名用に予約されています。 **unknown** ユーザーアカウントでは、ログインしているユーザーがない場合に、SLA 違反リスナーに関連するタスクを実行します。

以下の例では、前述のケース管理の概念をホテル予約にどのように適用するかを説明します。

- ロール = **Guest**
- グループ = **Receptionist**、**Maid**
- ユーザー = **Marilyn**

**Guest** のロールを割り当てると、関連ケースの特定の作業に影響があり、ケースインスタンスごとに固有です。ロールに割り当てることができるユーザーまたはグループの数は **Case Cardinality** で制限されています。Case Cardinality は、プロセスデザイナーのロール作成時に設定されます (例: ホテル予約ケースではゲストロールが1つ、IT\_Orders サンプルプロジェクトではITハードウェア業者ロールが2つです)。

ロールが定義されている場合には、ロールがケース定義の一部としてユーザー1人またはグループ1つにハードコードされておらず、ケースインスタンスごとに違うものを指定できるようにする必要があります。ケースのロール割り当てが重要なのは、このような理由からです。

ロールは、ケースの開始時や、ケースがアクティブになった時点で割り当てまたは割り当ての解除ができます。ロールはオプションですが、ケース定義でロールを使用して、整理されたワークフローを維持します。



## 重要

タスク割り当てに実際のユーザーまたはグループ名を使用する代わりに、ロールを使用します。これにより、必要に応じて、ユーザーまたはグループを実際に動的に割り当てるタイミングを遅らせることができます。

ロールはユーザーまたはグループに割り当てられ、ケースインスタンスの起動時にタスクを実行する権限があります。

## 第5章 動的タスクおよびプロセスの開始

ランタイム時に、ケースに動的タスクおよびプロセスを追加できます。動的アクションは、変化する状況に対応する方法で、ケース時に想定外の変更が発生した場合は、新しいタスクまたはプロセスをケースに組み込む必要があります。

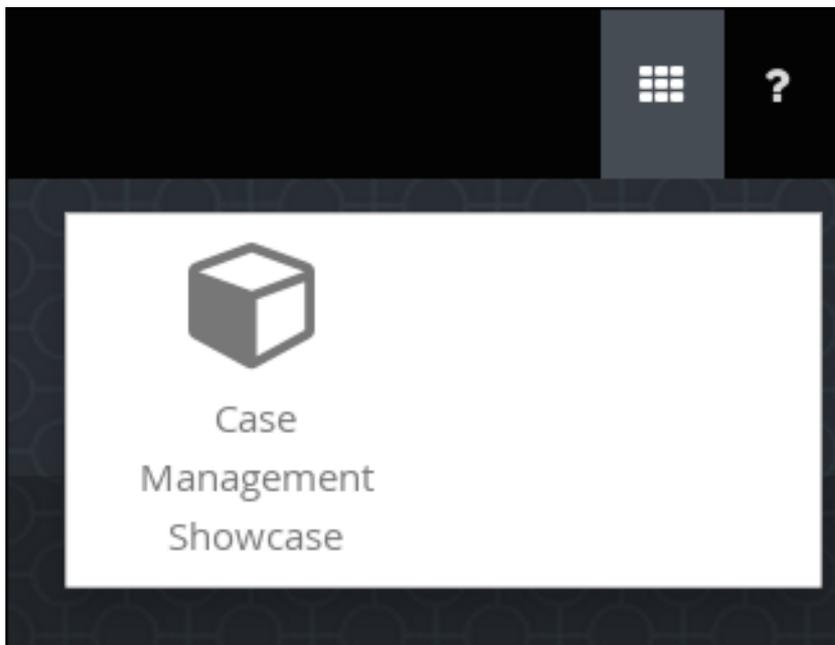
ケースアプリケーションを使用して、ランタイム時に動的タスクを追加します。デモの目的で、Business Central ディストリビューションには、IT 発注アプリケーションに対して新しい動的タスクまたはプロセスを開始できる Showcase アプリケーションが同梱されています。

### 前提条件

- KIE Server をデプロイし、Business Central に接続している。
- IT Orders プロジェクトが KIE Server にデプロイされている。
- Business Central と、Showcase アプリケーションの **.war** ファイルがデプロイされている。

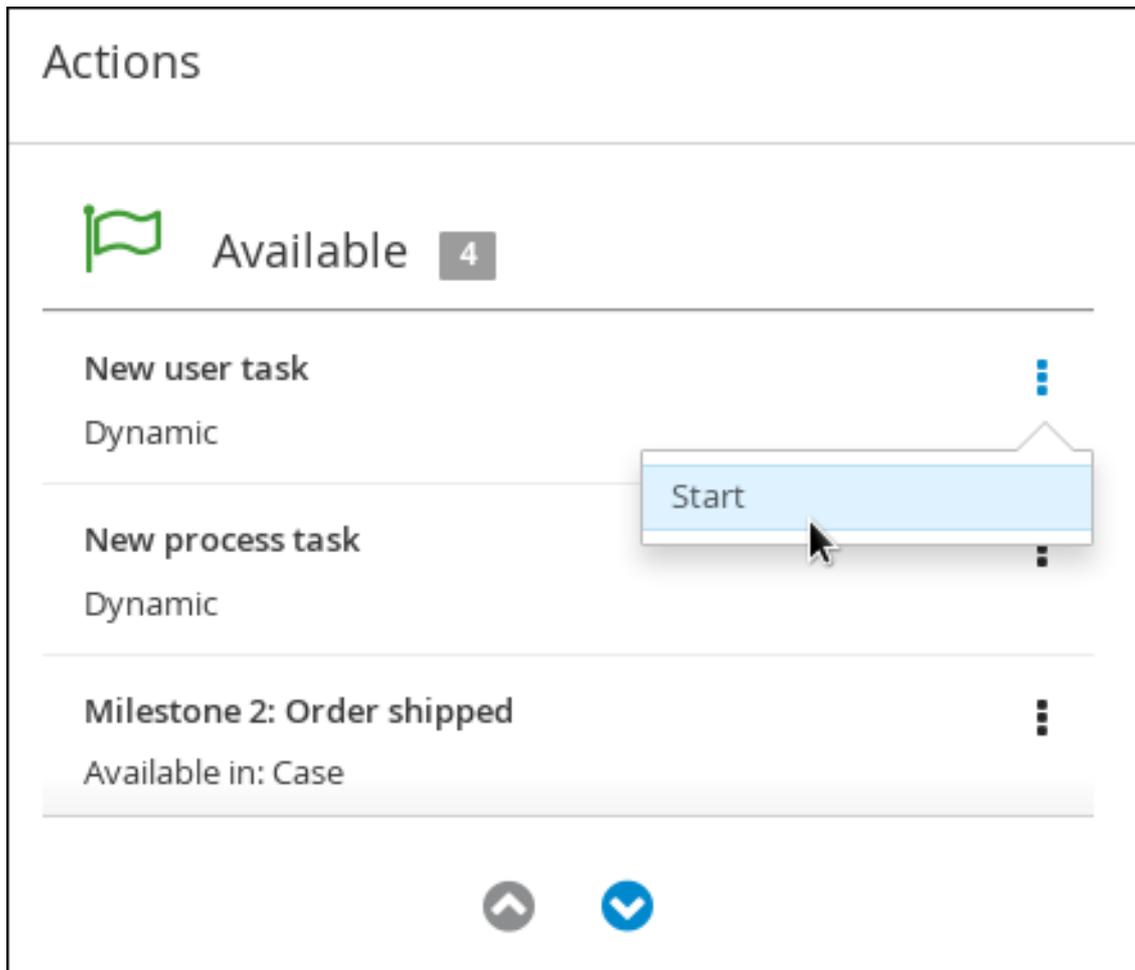
### 手順

1. Web ブラウザーの KIE Server に **IT\_Orders\_New** プロジェクトをデプロイして起動し、Showcase ログインページ <http://localhost:8080/rhpam-case-mgmt-showcase/> に移動します。  
**Apps launcher** ボタンを表示するように Business Central を設定している場合は、新しいブラウザウィンドウで Showcase ログインページを開きます。



2. Business Central ログインの認証情報を使用して、Showcase アプリケーションにログインします。
3. 一覧からアクティブなケースインスタンスを選択して開きます。
4. **Overview** → **Actions** → **Available** で **New user task** または **New process task** の横にある  ボタンをクリックして、新しいタスクまたはプロセスタスクを追加します。

図5.1 Showcase 動的アクション



- 動的ユーザータスクを作成するには、**New user task**を開始して、必要な情報を入力します。

- 動的プロセスタスクを作成するには、**New process task**を開始して必要な情報を入力します。

### New process task ✕

Name\*

Process id\*

Stage

5. Business Central で動的ユーザータスクを表示するには、**Menu → Track → Task Inbox** の順にクリックします。Showcase アプリケーションを使用して動的に追加したユーザータスクが、タスク作成時にタスクに割り当てられるユーザーの **Task Inbox** に表示されます。

### Task Inbox 🔄

Active filters: Status: Ready, InProgress, Reserved ✕ Save Filters | Clear All

Task	Process Definition Id	Status	Created On	Actions
NewDynamicTask	itorders.orderhardwa...	Reserved	22-May-2018 19:20:38	⋮

10 Items ▾

⏪
⏩
1 of 1
⏴
⏵

- a. **Task Inbox** で動的タスクをクリックしてタスクを開きます。このタグで多くのアクションタブが利用できます。
  - b. タスクタブで利用可能なアクションを使用すると、タスクでの作業を開始できます。
  - c. Showcase アプリケーションで、右上の再読み込みボタンをクリックします。進行中のケースタスクおよびプロセスは **Overview → Actions → In progress** に表示されます。
  - d. タスクでの作業を完了したら、**Work** タブで **Complete** ボタンをクリックします。
  - e. Showcase アプリケーションで、右上の再読み込みボタンをクリックします。**Overview → Actions → Completed** に完了したタスクが表示されます。
6. Business Central で動的プロセスタスクを表示する場合は、**Menu → Manage → Process Instances** の順にクリックします。

<input type="checkbox"/>	Id	Name	Description	Version	Last update	Errors	Actions
<input checked="" type="checkbox"/>	2	place-order	Order #{Caseld}	1.0	22-May-2018 1...	0	⋮
<input type="checkbox"/>	1	Order for IT ha...	Order for IT ha...	1.0	22-May-2018 1...	0	⋮

- a. 利用可能なプロセスインスタンスの一覧で動的プロセスインスタンスをクリックして、プロセスインスタンスの情報を表示します。
- b. Showcase アプリケーションで、右上の再読み込みボタンをクリックします。進行中のケースタスクおよびプロセスは **Overview** → **Actions** → **In progress** に表示されます。

## 第6章 SHOWCASE アプリケーションで IT 発注ケースの開始

Showcase アプリケーションで、IT 発注サンプルケース管理プロジェクトの新しいケースインスタンスを開始します。

IT 発注サンプルケース管理プロジェクトには以下のロールが含まれます。

- **owner**: ハードウェア注文リクエストを作成する従業員。このロールを持つユーザーは1人だけになる可能性もあります。
- **manager**: 従業員のマネージャー。ハードウェアリクエストを承認または却下する担当者。IT 発注プロジェクトにはマネージャーが1人だけ存在します。
- **supplier**: システムで利用可能な IT ハードウェア業者。通常は複数の業者が存在します。

このロールは、ケース定義レベルで設定されます。

図6.1 ITOrders ケースロール

Case Roles		
Name	Cardinality	+
owner	1	🗑️
manager	1	🗑️
supplier	2	🗑️

新しいケースファイルインスタンスの開始時に、このロールにユーザーまたはグループを割り当てます。

### 前提条件

- IT 発注サンプルプロジェクトを Business Central にインポートおよびデプロイしている。
- 「[3章 Showcase アプリケーションのインストールおよびログイン](#)」の手順に従って、Showcase アプリケーションをインストールしてログインしている。

### 手順

1. Showcase アプリケーションで、**Start Case** ボタンをクリックして新しいケースインスタンスを開始します。
2. 一覧から **Order for IT hardware** ケース名を選択し、以下のようにロール情報を完成させます。

### Start Case ✕

**Case Name** \*

Order for IT hardware ▼

**Case Owner** \*

pamadmin

**Role Assignments** ⓘ

Role Name	Users	Groups
manager	<input type="text" value="Katy"/>	<input type="text"/>
supplier	<input type="text"/>	<input type="text" value="supplier"/>

Cancel
Start

この例では、Aimee がケースの **owner**、Katy が **manager**、および業者グループが **supplier** になります。

3. **Start** をクリックして、ケースインスタンスを開始します。
4. **Case List** からケースを選択します。 **Overview** ページが開きます。  
**Overview** ページから、ケースを進捗を監視、コメントを追加、新しい動的タスクおよびプロセスを開始、そしてケースを完了して閉じることができます。

Back to case list > IT-000000002 Refresh

Order for IT hardware (pamadmin) Close

Overview

**Case Details**

**Description**  
Order for IT hardware

**Status**  
Open

**Owner**  
pamadmin

**Started**  
28/11/2018

**Actions**

🚩 Available 4

New user task  
Dynamic

New process task  
Dynamic

Milestone 2: Order shipped  
Available in: Case

🚩 In progress 4

Prepare hardware spec  
28/11/2018 ( Human Task )

Milestone 1: Order placed  
28/11/2018 ( Milestone )

Hardware spec ready  
28/11/2018 ( Milestone )

🚩 Completed 0

No actions found

**Milestones** ⓘ

- 🚩 Hardware spec ready
- 🚩 Manager decision
- 🚩 Milestone 1: Order placed
- 🚩 Milestone 2: Order shipped
- 🚩 Milestone 3: Delivered to customer

**Comments** ⓘ

👤  +

No Comments found

**Roles** ⓘ All ▼

- owner**
- 👤 pamadmin
- manager**
- 👤 Katy ✕



## 注記

ケースは、Showcase アプリケーションで開始して閉じることができますが、このアプリケーションを使用して再開することはできません。ケースの再開には JMS または REST API コールを使用する必要があります。

## 第7章 SHOWCASE と BUSINESS CENTRAL を使用した IT\_ORDERSケースの完了

Showcase アプリケーションでケースインスタンスを開始すると、ケース定義で **Adhoc autostart** に設定したタスクが自動的に割り当てられ、各タスクに対するロール割り当てを持つユーザーが利用できるようになります。ケース作業者は、Business Central のタスクに取り組み、完了させ、ケースを前に進ませます。

IT\_Orders ケースプロジェクトでは、以下のケース定義ノードが **Adhoc autostart** プロパティで設定されます。

- **Prepare hardware spec**
- **Hardware spec ready**
- **Manager decision**
- **Milestone 1: Order placed**

この中で、唯一のユーザータスクは **supplier** グループに割り当てられている **Prepare hardware spec** であり、IT 発注ケースで完了する最初のヒューマンタスクです。このタスクが完了すると、**manager** ロールが割り当てられたユーザーに **Manager approval** タスクが利用可能になり、残りのケース作業が終了すると、タスクを完了するために、**Customer satisfaction survey** タスクがケース所有者に割り当てられます。

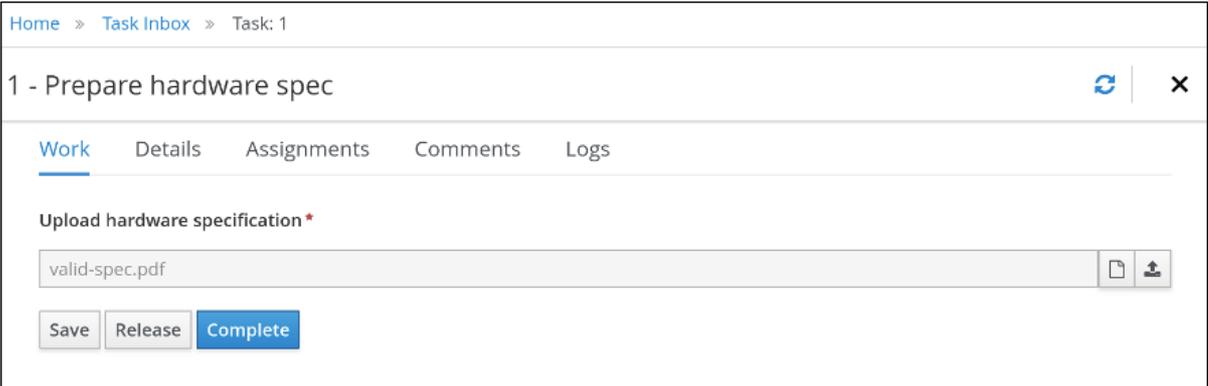
### 前提条件

- **wbadmin** ユーザーとして、Showcase アプリケーションで IT\_Orders ケースを開始している。

### 手順

1. Business Central からログアウトし、**supplier** グループに属するユーザーでログインし直します。
2. **Menu** → **Track** → **Task Inbox** に移動します。
3. **Prepare hardware spec** タスクを開いて、**Claim** をクリックします。これにより、タスクがログインユーザーに割り当てられます。

4. **Start** をクリックして  をクリックし、ハードウェア仕様ファイルの場所を特定します。  
 をクリックしてファイルをアップロードします。



Home > Task Inbox > Task: 1

1 - Prepare hardware spec

Work Details Assignments Comments Logs

Upload hardware specification \*

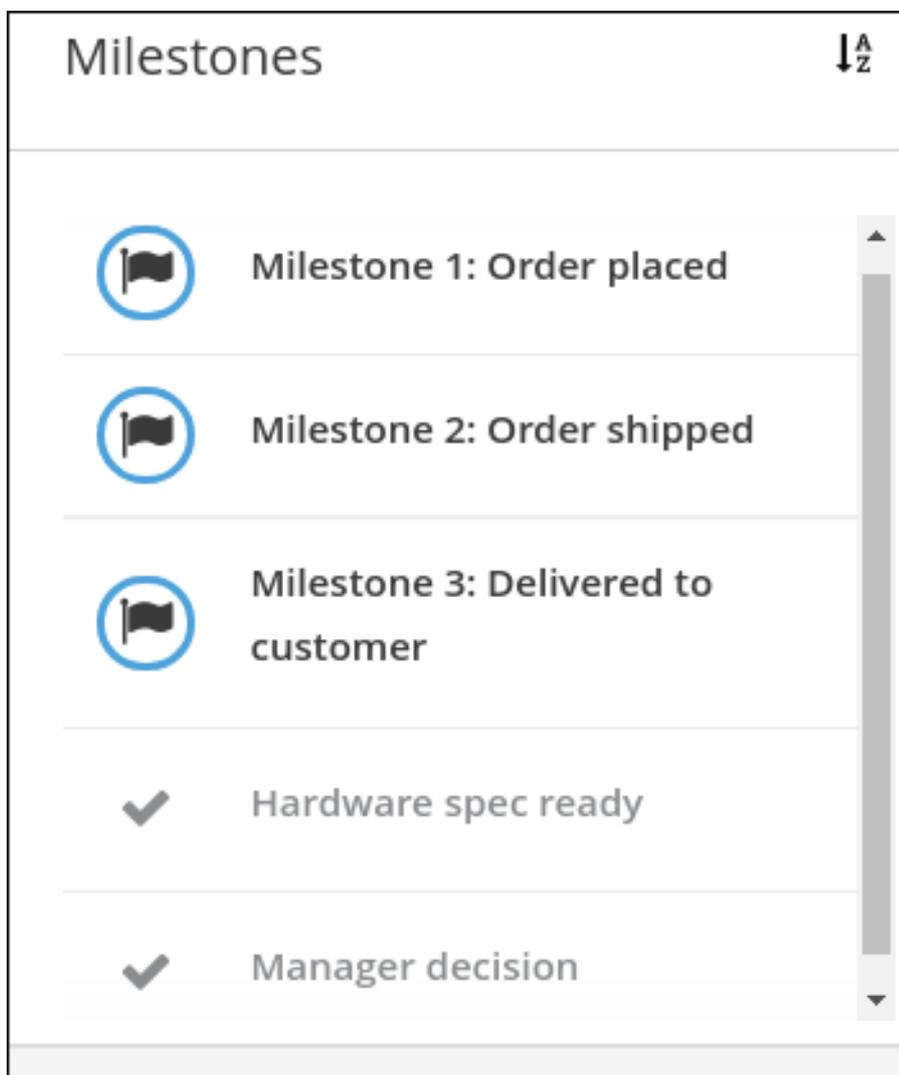
valid-spec.pdf

Save Release Complete

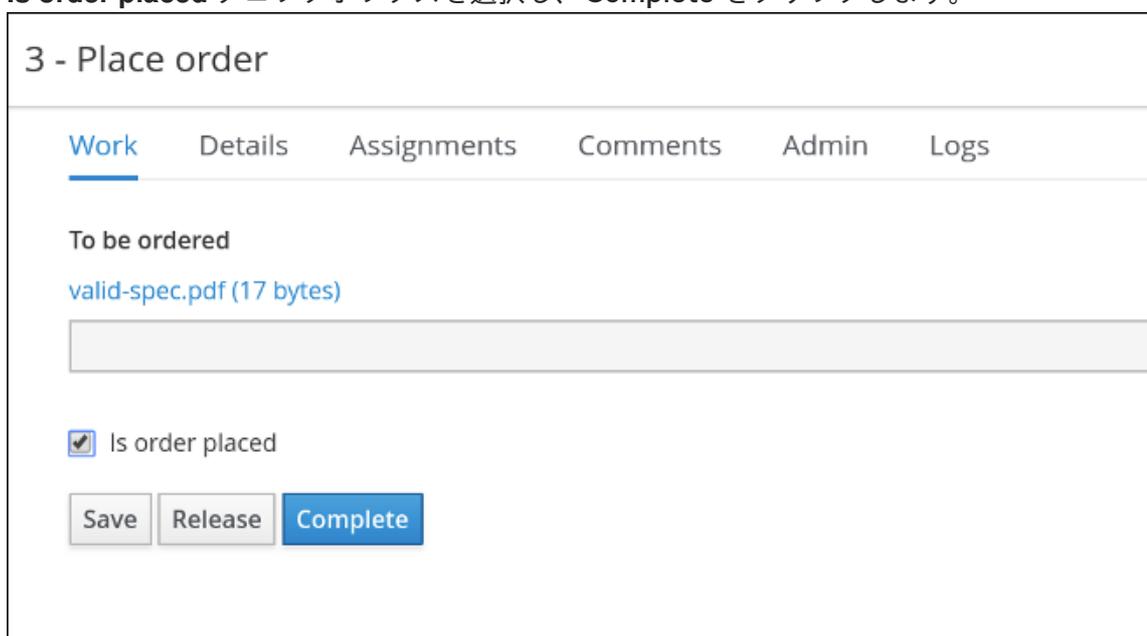
5. **Complete** をクリックします。
6. Showcase の右上にある **Refresh** をクリックします。 **Prepare hardware task** ユーザータスクと **Hardware spec ready** マイルストーンが **Completed** 列に表示されます。

Actions		
 Available <span>5</span>	 In progress <span>3</span>	 Completed <span>2</span>
New user task Dynamic	Milestone 1: Order placed 18/07/2018 ( Milestone )	Hardware spec ready 18/07/2018 ( Milestone )
New process task Dynamic	Manager decision 18/07/2018 ( Milestone )	Prepare hardware spec 18/07/2018 ( Human Task )
Prepare hardware spec Available In: Case	Manager approval 18/07/2018 ( Human Task - Katy )	

7. **Menu** → **Track** → **Task Inbox** の順に移動します。 **wbadmin** の **Manager approval** タスクを開きます。
  - a. **Claim** をクリックして、 **Start** をクリックします。
  - b. **valid-spec.pdf** ファイルを含むタスクの **approve** ボックスを確認して、 **Complete** をクリックします。
8. **Menu** → **Manage** → **Process Instances** に移動し、 **Order for IT hardware** プロセスインスタンスを開きます。
  - a. **Diagram** タブを開きます。 **Place order** タスクが完了しています。
  - b. Showcase ページを再読み込みし、 **Manager approval** タスクと **Manager decision** マイルストーンが **Completed** 列にあることを確認します。 Showcase 概要ページの左下にある **Milestones** ペインにも、完了または保留中のマイルストーンが表示されます。



9. Business Central で **Menu** → **Manage** → **Tasks** に移動します。 **Place order** タスクをクリックして開きます。
- Claim** をクリックして、**Start** をクリックします。
  - Is order placed** チェックボックスを選択し、**Complete** をクリックします。



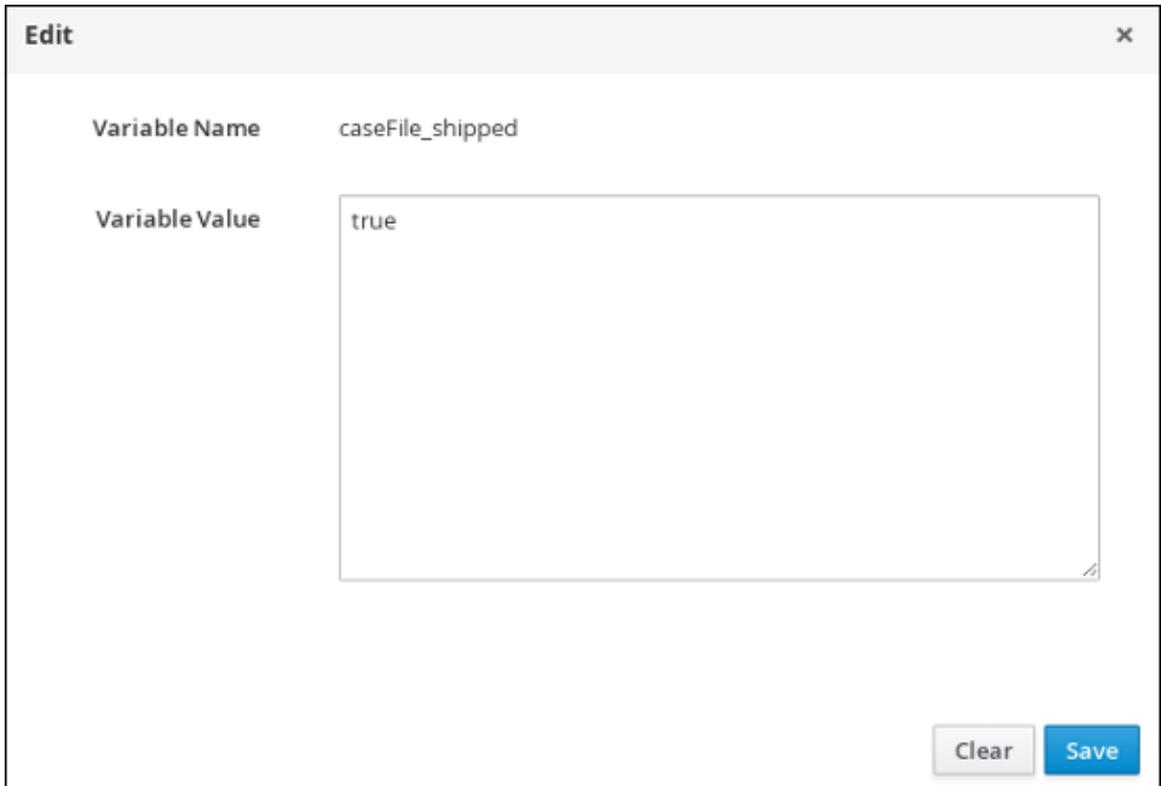
プロセスインスタンスの図に、Milestones 2: Order shipped ケースの進捗が表示されるようになります。

c. Showcase ページを再読み込みして、ケースの進捗を表示します。

10. Menu → Manage → Process Instances に移動し、Order for IT hardware を開きます。

a. Process Variables タブを開きます。caseFile\_shipped 変数を見つけ、Edit をクリックします。

b. Edit ウィンドウに true を入力し、Save をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled "Edit" with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are two labels: "Variable Name" and "Variable Value". The "Variable Name" is set to "caseFile\_shipped". The "Variable Value" is a text input field containing the text "true". At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "Clear" and "Save".

c. Showcase ページを再読み込みします。Milestone 2: Order shipped マイルストーンが Completed になっていることを確認します。最後のマイルストーン Milestone 3: Delivered to customer は In progress になっていません。

11. Menu → Manage → Process Instances に移動し、Order for IT hardware を開きます。

a. Process Variables タブを開きます。caseFile\_delivered 変数を見つけて、Edit をクリックします。

b. Edit ウィンドウに true を入力し、Save をクリックします。

c. Showcase ページを再読み込みします。Milestone 3: Delivered to customer マイルストーンが Completed になっていることを確認します。左下の Milestones ペインにあるすべてのマイルストーンは完了となります。

IT 発注ケースの最後のタスク Customer satisfaction survey が In progress の下に表示されます。

Actions

Available <span>3</span>	In progress <span>1</span>	Completed <span>11</span>
New user task Dynamic	Customer satisfaction survey 18/07/2018 ( Human Task - Almee )	Hardware spec ready 18/07/2018 ( Milestone )
New process task Dynamic		Prepare hardware spec 18/07/2018 ( Human Task )
Prepare hardware spec Available in: Case		Manager decision 18/07/2018 ( Milestone )

- Business Central で **Menu** → **Track** → **Task Inbox** に移動します。 **Customer satisfaction survey** タスクをクリックして開きます。  
このタスクは、すでに **wbadmin** 向けに確保されています。
- Start** をクリックして、アンケートに答えます。

### 4 - Customer satisfaction survey

[Work](#) [Details](#) [Assignments](#) [Comments](#) [Logs](#)

#### Survey

Satisfied

Delivered on time?

#### Missing Equipment

None.

#### Comment

Delivered on time and as ordered. Thank you.

- Complete** をクリックします。

15. **Menu** → **Manage** → **Process Instances** に移動し、**Order for IT hardware** プロセスインスタンスを開きます。
  - a. **Diagram** タブを開きます。これにより、必要なすべてのケースプロセスノードが完了し、このケースインスタンスに必要なアクションが残っていないことが確認できます。
  - b. Showcase ページを再読み込みして、**In progress** にアクションが残っていないことを確認します。
16. Showcase で、**Comments** の下のフィールドにコメントを入力します。  をクリックして、ケースファイルにコメントを追加します。



Comments 

---

 **wbadmin** 10/12/2018 

All done and ready to close

17. Showcase ページの右上の **Close** をクリックして、ケースを完了して閉じます。

---

## 第8章 関連資料

- 『[ケース管理の設計および構築](#)』
- 『[ケース管理の使用ガイド](#)』

## 付録A バージョン情報

本書の最終更新日: 2020 年 9 月 8 日 (木)